

善光寺 開創三十周年 育英会十五周年 記念事業趣意書

「宗祖を通して釈尊に還れ」を宗教的原点として、まだ右も左も分からぬこの地に善光寺を開創したのは昭和四十四年。あれから三十年の月日が流れたとは、あまりの早さに、ふと信じられないような気持ちになることがあります。開創当初に、『仏教を通しての世界平和に貢献していきたい』という大誓願を立てた時の気持ちを持ち続けていられるのも、三十年間一歩一歩着実に目標に向かって歩んでこられましたのも、ひとえに、み仏のお導きと心温かい檀徒のみなさまの絶大なるお力添えのお陰。振り返り、数々のご支援を思い出す度に感謝と感激で胸がいっぱいになります。

まさに、激動の三十年でした。寺檀一体となって開創以来十五年目の昭和五十七年には釈迦殿が完成致しました。報恩行として横浜善光寺留学僧育英会を発足、これまでに世界十八ヶ国（一地域）、延べ八十八人の優秀な留学僧を送り出すことができました。この育英会事業が評価され、平成十年六月には、スリランカ政府公認の慈善団体『サラナング財団』から、「国際荣誉賞」を受賞いたしました。これは、私自身だけではなく、ご協力くださった檀徒のみなさま一人ひとりが受けた賞として、この法幸を大変嬉しく誇りに感じております。

さて三十周年という節目の年を迎え、これまでの締め括りと致しまして次の様な記念事業を実施し、さらに大きく飛躍していきたくいと願っております。

一、開創三十周年記念式典及び横浜善光寺留学僧育英会十五周年式典の開催

なるべく多くの方々にご参加頂きたい為、平成十一年五月二十八日、横浜プリンスホテルの会場を予定しています。

二、善光寺墓地「横浜やすらぎの郷」開園

今まで善光寺には墓地がなく、このほどのどかな田園地帯の一角、横浜市旭区上川井町に霊園を開園いたします。さらに霊園完成の成功を祈って、「十一面観音」建立を誓願致しました。

三、三十周年行事として高祖道元禪師が若き日に留学修行した中国の天童禪寺参拝

(平成十一年四月九日～十四日)

平成十四年に大本山永平寺において開かれる道元禪師七百五十回大遠忌には曹洞宗の一寺院として善光寺でも協賛させていただきます。

四、育英会十五周年行事として、ワットパクナム(タイ国)訪問(平成十一年十月予定)

五、十八羅漢の屏風製作。中国上海人民美術出版社、画家周穎先生に依頼。

六、鶴見大学に歯科用カメラを寄贈

七、開創三十周年育英会十五周年記念出版物の刊行。

八、釈迦殿等内外の修復

つきましては、右事業実施のため、総額五千万円の予算を計上致しましたので、何卒ご協賛ください、浄財の御喜捨を伏してお願い申し上げます。

平成十年十一月吉日

善光寺住職 黒田 武志

式典委員長

越石周平

実行委員

土屋武彌

式典副委員長

大津正二

〃

池田耕三

〃

中村治雄

実行委員長

富永豊重

実行委員

熊谷豊太郎

総務局長

下田恒治

〃

仲田清祐

事務局長

山口義男

〃

細井勉

育英会事務局長

新美昌道

〃

遠藤清勇

事務局

瀧澤武雄

〃

伊礼盛寿

〃

宮本路朗

〃

城下栄三郎

〃

伊藤興郎

〃

森川裕也

〃

桐元大智

〃

関川良制

〃

蒔田恭治

〃

広木理郎

〃

福田孝雄

〃

国広敏郎

〃

福田孝雄



明王菩薩摩訶薩

明王菩薩摩訶薩